

平成25年度福井CST養成・支援事業地(知)の拠点整備事業「理科に強い小中学校教員養成(CST)業務成果報告書

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-12-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中田, 隆二, 大山, 利夫, 浅原, 雅浩, 細江, 悦雄, 荻澤, 知穂 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/9041

平成 25 年度
福井 CST 養成・支援事業

業務成果報告書

国立大学法人 福井大学
福井県教育委員会

本報告書は、本学が平成 25 年度文部科学省地（知）の拠点整備事業の採択を受け、その「人材育成」分野における「理科に強い教員養成・研修」の取り組みを含め、福井 CST 養成・支援事業として実施した内容をまとめたものである。

はじめに

平成 21 年度に福井県教育委員会と福井大学が共同申請し、独立行政法人科学技術振興機構の「理数系教員養成拠点構築事業」として採択された本事業は、平成 24 年度末で支援終了となりましたが、平成 25 年度以降も「福井 CST 養成・支援事業」として継続することになりました。

本事業は、平成 25 年 3 月 26 日に締結した福井大学と福井県の「包括的連携協定」のもと、福井大学と福井県教育委員会との間で交わした「CST 養成とその活動支援等に関する共同実施合意書（平成 25 年 4 月 1 日付）」に基づき実施していくこととなります。

また、福井大学は、平成 25 年度文部科学省事業「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択されました。この事業は、大学と自治体等が連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めることで、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図り、地域再生・活性化の拠点となる大学を形成することを目的としています。本学は、福井の地域課題として顕在化する重点 5 分野について特に注力し、地（知）の拠点として、全学体制で地域の課題解決に戦略的に取り組んでおり、CST 養成・支援事業は、地域再生・活性化の基盤となる「人材育成」分野の一部門として、福井県教育委員会を始め、県内の理科教育関連機関の協力を受けながら、今後 4 年間継続実施していくこととなります。

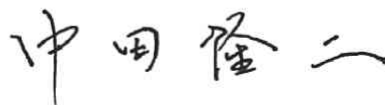
初めての CST を平成 23 年度末に輩出して以来 3 年目を迎え、その養成数も初級・中級・上級を合わせ 32 名となります。平成 24 年度以降、県内各地で CST が講師を務める研修会が開催されるようになってきましたし、新卒の初級（学部生対象）及び中級（大学院生対象）CST 養成プログラム修了者の中から、毎年 2～3 名の福井県内外の新採用教員が生まれています。彼らが、今後も学校現場で継続的に研鑽を積み、学び続ける教員となることで、後輩にも好影響を与えてくれると確信しています。

本事業は、県内の理数教育関連機関・大学・施設等の協力があって始めて、実施できるものであり、また、県内の理科教育関係者への継続的支援が実現することとなります。今後も、福井大学及び福井県教育委員会の実施する本事業が、地域の理科教育力の向上に寄与できるよう養成・支援システムを維持・改善していく所存です。今後も、CST の活躍と本県の理数教育の充実へのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 3 月

国立大学法人 福井大学 教育地域科学部

学部長



業務成果報告書 目次

1. 実施状況	
1.1 CST 企画運営事務局および各種委員会	1
1.2 CST 養成講座提供機関一覧	2
1.3 実施状況一覧	2
1.4 インターンシップ	4
1.5 地域支援拠点（小学校）の活動	5
1.6 CST 養成プログラム新規受講者の推移	8
1.7 CST の活動	8
1.8 平成 25 年度 CST 認定	10
2. 成果	11
3. 実施風景（抜粋）	
3.1 学校インターンシップ	12
3.2 博物館等インターンシップ	12
3.3 地域支援拠点（小学校）	13
3.4 CST の活動	13
3.5 認定証書授与式	14
4. 成果物	15
5. 広報資料	16
6. 報道資料	16

1. 実施状況

1.1 CST 企画運営事務局および各種委員会

1.1.1 CST 企画運営事務局（福井大学 文京キャンパス 総合研究棟 1 12 階に継続設置）

CST 企画運営事務局 教授	大山 利夫
CST 企画運営事務局 准教授	浅原 雅浩
CST 企画運営事務局 講師	山田 吉英
CST 企画運営事務局 研究員	細江 悦雄
CST 企画運営事務局 事務補佐員	荻澤 知穂

1.1.2 CST 企画運営委員会 委員（福井大学および福井県教育委員会で構成）

福井大学 教育地域科学部 教授（委員長）	大山 利夫
福井県教育庁 義務教育課 指導主事（副委員長）	荒川 誠
福井大学 教育地域科学部 准教授	浅原 雅浩
福井大学 教育地域科学部 教授	栗原 一嘉
福井大学 教育地域科学部 講師	西沢 徹
福井県教育研究所 科学情報課 課長	波多野 恒
福井大学 教育地域科学部 講師	三好 雅也
福井大学 教育地域科学部 講師	山田 吉英
福井大学 教育地域科学部 教授	山本 博文

1.1.3 福井 CST 認定委員会 委員（実施機関と有識者で構成）

福井大学 教育地域科学部 学部長	中田 隆二 （委員長）
福井県教育庁 義務教育課 課長	上野 弘 （副委員長）
福井県教育庁 義務教育課 指導主事	荒川 誠
福井大学 教育地域科学部 教授	大山 利夫
福井県中学校教育研究会 理科部会長 （福井市藤島中学校長）	加藤 正弘
福井県小学校教育研究会 理科部会長 （福井市岡保小学校長）	脇田 典子

（五十音順，敬称略）

1.2 CST 養成講座提供機関一覧

平成 25 年度合計 311 講座

提供機関名	講座提供数	提供機関名	講座提供数
福井大学	21	福井県自然保護センター*	28
福井県教育研究所*	46	福井市自然史博物館#	42
福井県嶺南教育事務所*	18	福井県児童科学館	19
福井県立大学*	25	福井工業大学	5
福井県立恐竜博物館*	24	日本原子力研究開発機構	3
福井県大学連携リーグ*	44	原子力安全システム研究所	5
福井県海浜自然センター*	31		

(注) *：福井県，#：福井市

1.3 実施状況一覧

1.3.1 各種委員会

会議・委員会名	開催日時	場 所
第 17 回 CST 企画運営委員会	2013/5/31 (金) 9:30 ~ 11:00	福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 12 階 CST 企画運営事務局
第 18 回 CST 企画運営委員会	2013/10/21 (月) 10:30 ~ 12:00	福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 12 階 CST 企画運営事務局
第 19 回 CST 企画運営委員会	2014/2/26 (水) 17:00 ~ 18:30	福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 12 階 CST 企画運営事務局
第 3 回 福井 CST 認定委員会	2014/3/18 (月) 17:00 ~ 18:30	福井大学文京キャンパス 総合研究棟 V 1 階 学部長室

1.3.2 CST 公開セミナー (合同研修会)

名称	開催日時	場 所・(参加人数)	内 容
第 3 回 CST 公開セミナー ・ 第 7 回 CST 合同研修会	2013/6/21 (日)	福井大学 文京キャンパス 総合研究棟 I 12 階 化学大実験室 (24 名)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンポイントセミナー 『花から実への再考察, どこを食べているのか』(西沢 徹) 『小学校理科の授業のための提案~興味・関心を高め、持続させるためには~』 (上級 CST 垣内 浩) 『大気圧実験のための教材教具の紹介』(上級 CST 北倉 祐治) ・授業ネタ紹介 『メダカの観察について』 (上級 CST 補 平田 幸憲) ・初級受講者の取り組み発表 (岩佐, 奥出, 西行, 松本, 本谷)

名称	開催日時	場 所・(参加人数)	内 容
第4回 CST 公開セミナー ・ 第8回 CST 合同研修会	2013/10/10 (木) 19:00 ~ 20:50	福井大学 文京キャンパス 教育1号館前 芝生広場 (20名)	・ワンポイントセミナー 『七輪でマグマをつくる』 (三好 雅也) 『天体の授業での ICT の活用』 (上級 CST 松山 明人) ・授業ネタ紹介 『上級 CST としての活動 (実践 コミュニティの形成)』 (上級 CST 栃川 正樹)
第5回 CST 公開セミナー ・ 第9回 CST 合同研修会	2014/2/15 (土) 14:00 ~ 16:50	福井大学 文京キャンパス 総合研究棟 I 13階 多目的会議室 (45名)	・講演 『福島の理科教育を見つめる ー「いま」と「これからに向けて」ー』 (福島大学人間発達文化学類 平中 宏典 准教授) ・ワークショップ 計 15 件

1.3.3 成果発表・CST シンポジウムへの参加

日 時	場 所	目 的
2013/11/9 (土) ~ 11/10 (日)	日本科学未来館	『サイエンスアゴラ 2013』において資料収集
2013/12/8 (日)	香川大学幸町北キャンパス	『香川 CST シンポジウム』において情報収集及び成果発表
2013/12/26 (木)	高知会館	『2013 年度高知 CST プログラム 理科教育シンポジウム』において資料収集及び成果発表
2014/2/2 (水)	三重大学	『三重 CST シンポジウム』において資料収集
2014/2/21 (金) ~ 2/22 (土)	名城大学	『第2回理数系教員養成拠点構築プログラム 成果報告会および CST の集い』に出席し、全国の CST と相互のネットワーク構築を図る
2014/3/15 (土)	横浜市技能文化会館	『神奈川 CST プラン 第三回シンポジウム』において資料収集及び成果発表

1.3.4 事業経費一覧

- ・ 平成 25 年度 地 (知) の拠点整備事業 (大学 COC 事業)
「自治体と連携した特定の教科・領域における教員養成・理科に強い小中学校教員養成 (CST)」
- ・ 平成 25 年度 地 (知) の拠点整備事業 (大学 COC 事業)
「地域資源 (教材) の活用による科学コミュニケーション力の育成」
- ・ 教育評価に基づく競争的経費
「コア・サイエンス・ティーチャー (CST) 養成事業におけるインターンシップの推進支援 拠点の充実と活用」
- ・ その他 学部支援経費 (研究員, 事務補佐員人件費)

1.4 インターンシップ

1.4.1 学校インターンシップ

初級 CST 受講者

1 週間に 1 日（4 時間程度相当）を基本とし、半年間で 10 週（40 時間以上）とする。

中級 CST 受講者

1 週間に 1 日（4 時間程度相当）を基本とし、年間で 20 週（80 時間以上）とする。

所属学校	25 年度前期		25 年度後期		
	実習校	研究授業	実習校	研究授業	
附属学校	附属小 (S.O)	2013/7/8			中級
福井市			明新小 (S.O)	2014/2/10	
			東郷小 (S.I)	2014/1/14	
			豊 小 (T.M)	2013/11/28	
			明倫中 (H.S)	2014/1/21	初級
			明道中 (S.O)	2014/2/10	
			安居中 (T.M)	2013/12/18	

() 内は受講者のイニシャル

• 学校インターンシップの流れ

【前期】

- 2013/4/5 附属小学校にインターンシップ受入依頼
- 2013/4/8 附属小学校での直前指導
- 2013/4/12 受講者打合せ（受講全般，概要等）
- 2013/6/3 中間カンファレンス
- 2013/7/22 最終カンファレンス

【後期】

- 7 月上旬 各小中学校長にインターンシップ受入依頼
- 7 月中旬 各小中学校長より内諾書の回答
- 2013/8/21 後期インターンシップ第 1 回連絡会（概要，実習校内定等）
- 2013/9/3 直前指導の日程調整についての依頼（メールにて）
- 2013/9/27 後期インターンシップ第 2 回連絡会（実習計画，実習曜日，服務について等）
- 9 月下旬～ 各実習校での直前指導
- 10 月下旬～ 2 月上旬 各校でインターンシップ実施 *実習中に各実習校を 2 回程度訪問
- 2013/11/18 中間カンファレンス
- 2013/2/26 最終カンファレンス
- 2 月下旬 各実習校へ受講者の実習日誌と実施報告書を送付
実習校担当者は，受講者の評価報告書を事務局に返送

1.4.2 博物館等インターンシップ

4時間×5回を基本とする。「2～3月…学部3年生」 「9～11月…学部4年生」

但し、第1回目には、受講者、CST企画運営事務局担当者および受入側担当者との三者面談による実施に関する打ち合わせを含むものとする。

・ 博物館等インターンシップの流れ

博物館等は連携機関となっている。インターンシップの受け入れと実施については、可能プログラムを事務局側で打診して、その都度、受講者と連絡を図り、実習期間、時期などを電話やメールで調整をしながら実施している。

博物館等名	25年度
福井市自然史博物館〈福井市〉	2014/2/21～3/1 (T.M)
福井県児童科学館〈坂井市〉	2013/9/19～10/14 (H.K)
	2013/9/19～10/17 (S.O)
福井県立恐竜博物館〈勝山市〉	2013/9/24～10/6 (R.O)
	(Y.K)

()内は受講者のイニシャル

1.5 地域支援拠点（小学校）の活動

1.5.1 地域支援拠点（小学校）一覧

地域	学校名	福井大学 窓口教員
坂井	坂井市立春江西小学校	西沢 徹
福井・吉田	福井市明新小学校	山田 吉英
奥越	勝山市立成器南小学校	山本 博文
鯖丹	鯖江市鯖江東小学校	栗原 一嘉
南越	越前市武生東小学校	三好 雅也
二州	敦賀市立沓見小学校	浅原 雅浩
若狭	小浜市立小浜小学校	大山 利夫

指定期間 平成27年3月31日まで

1.5.2 地域支援拠点（小学校）の活動実績

日時	拠点名	活動内容
2013/5/31 (金) 10:40～11:25	坂井市立春江西小学校	「坂井地教委連指導主事学校訪問 理科公開授業」 5年理科「植物の発芽と成長」の第3次（12時間配当）の授業を指導主事学校訪問日に併せて公開した。
2013/6/19 (水) 15:00～17:00	越前市武生東小学校	指導主事訪問「公開授業」 場所：越前市武生第一中学校 理科室 授業者：上級CST 垣内 浩 教諭（越前市武生東小学校） 「化学変化とイオン」について授業見学の後、授業研究会を行った。

日時	拠点名	活動内容
2013/6/20 (木) 15:00 ~ 17:00	越前市武生東小学校	「理科ブロック研修講座」 場所：越前市武生東小学校 理科室 講師：福井県教育研究所 塚本 令子 研究員 上級 CST 垣内 浩 教諭（越前市武生東小学校） 前半は「実験観察の手法」として、実験講習を行った。後半は「小学校理科の授業のための提案」という講義の中で、実験用具の作成などを行った。
2013/7/12 (金) 13:50 ~ 15:40	福井市明新小学校	「親子実験教室」 4年生がPTA行事「学級会」で風船を素材に空気や圧力を体感する実験を行った。初級・中級 CST 受講者を講師として招いた。
2013/7/23 (火)	越前市武生東小学校	「理科教育用素材の発掘のための企業見学」 場所：武生特殊鋼材株式会社 レンゴー株式会社 市内の企業を見学し、地域の科学技術について知見を深め、理科の授業で使えるような素材の研究を行った
2013/8/1 (木) 9:00 ~ 11:30	敦賀市立杓見小学校	「中池見湿原観察会」 二州ブロック小中学校教員理科指導力向上事業の研修会として、ラムサール条約湿地に認定された中池見湿原について研修した。「中池見 人と自然のふれあいの里」所員 増田茂氏を講師として、講義やフィールドワークを実施した。
2013/8/2 (金) 14:00 ~ 16:00	福井市明新小学校	「実験講習会」 県小教研福井・吉田ブロック理科研究部会主催の講習会 講師：県教委 荒川指導主事, 市教委 南部指導主事 理科の教科書で取り上げられている実験を子どもたちにさせるときに観察実験のレシピ集をどのように生かしていくかという内容の講習会を行った。
2013/8/6 (火) 9:00 ~ 11:00	坂井市立春江西小学校	「わくわく理科ランド」 市内小学校理科教諭等が講師となり、実験・理科工作を行った。 内容:全体実験（音でうっとり！音でびっくり！）、選べる理科ランド（ボトルウェーブ、さそりの標本づくりなど）
2013/8/6 (火) 10:00 ~ 12:00	鯖江市鯖江東小学校	「中学生科学実験教室」兼「教員対象理科実験研修会」 講師：福井工業大学の先生方 ①「グアガムを使ったゲル培地を作ろう」 ②「発泡剤を用いたロケット作り」 福井工業大学 福井キャンパスにおいて、鯖江市内の中学生および小中学校の理科教員を対象に上記の講座が開催され、その中から1講座を選び、受講した。
2013/8/6 (火) 13:00 ~ 15:00	鯖江市鯖江東小学校	「中学生科学実験教室」兼「教員対象理科実験研修会」 講師：福井工業大学の先生 「心臓・血管・心拍と運動の関係について」 福井工業大学 福井キャンパスにおいて、鯖江市内の中学生および小中学校の理科教員を対象に上記の講座が開催され、受講した。
2013/8/6 (火) 13:00 ~ 15:00	鯖江市鯖江東小学校	「中学生科学実験教室」兼「教員対象理科実験研修会」 講師：福井工業大学の先生 「電流と磁界について」 福井工業大学 福井キャンパスにおいて、鯖江市内の中学生および小中学校の理科教員を対象に上記の講座が開催され、受講した。
2013/8/26 (月) 9:00 ~ 10:30	鯖江市鯖江東小学校	「CST 実験講習会（鯖丹ブロック）」 講師：上級 CST 佐々木 恭介 教諭（鯖江市鯖江中学校） 鯖江東小学校の理科室にて、鯖江市と丹生郡内の小中学校の理科を担当する教員を対象に実施。 小学校・中学校の系統性を重視した指導について講習を受けた後、観察・実験器具の正しい使い方を習得するための工夫を学び、研修を深めた。

日時	拠点名	活動内容
2013/8/26 (月) 10:30 ~ 12:00	鯖江市鯖江東小学校	「CST 実験講習会 (鯖丹ブロック)」 講師：教育研究所 渡辺 邦彦 教諭 鯖江東小学校の理科室にて、鯖江市と丹生郡内の小中学校の理科を担当する教員を対象に実施。 天体に関する学習の系統性について講習を受け、4年「月と星」・6年「月と太陽」における、授業作りについて研修を深めた。
2013/8/27 (火) 9:00 ~ 11:00	小浜市立小浜小学校	「小・中学校教員理科指導力向上研修会」 実施母体：小・中学校教育研究会若狭ブロック理科部会 講師：大野 豊教諭 弥美小学校 (上級 CST) 今回は、指導要領改訂にともなう理科の変化についての講義や、小学校のエネルギー領域で、3年生～6年生の教科書に掲載されている教材制作の実習を行った。
2013/8/30 (金) 13:30 ~ 16:20	勝山市立成器南小学校	教員向けジオパーク研修 講師：吉川 博輔 氏 (勝山市ジオパーク推進室) 内容：「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」を中心として小中学校の教科書に準拠した見学コースの現地実習等 (岩石ハンマーとルーペによる岩石の採集及び観察、地形図と方位磁針による現在地の特定方法等) 現地実習地：杉山 (恐竜発掘現場)、大矢谷 (巨大岩塊) など
2013/9/7 (土) ～ 9/8 (日) 10:00 ~ 17:00	敦賀市立杵見小学校	「敦賀市小中学校児童生徒理科作品展」 夏休み中に行った児童生徒の理科研究や理科作品を展示した。(小学校 272 作品, 中学校 110 作品, 計 382 作品) 同時に、小中学校理科部員や高校、関連機関等による参加体験型ワークショップも開催した。
2013/10/11 (金) 10:45 ~ 12:30	越前市武生東小学校	指導主事訪問「公開授業」 場所：越前市服間小学校 理科室 授業者：木下 克美 教諭 「ふりこの1往復する時間は何によってきまるのか」について授業見学の後、授業研究会を行った。
2013/10/18 (金) 9:30 ~ 11:30	坂井市立春江西小学校	「理科教育推進のための科学教育映画収集・活用ならびに関連する理科実験実施の支援事業」 NPO 法人福井科学学園主催で春江西公民館とタイアップして事業を実施。この日は、5年1組の児童と地域の高齢者との交流を図るという目的で「あかり」という映画を鑑賞後、グループに分かれて「まさつのない装置で慣性の法則を見つけよう」というテーマで実験を行った。それぞれのグループに高齢者が入り、実験の手伝いをした。
2013/10/22 (火) 15:00 ~ 16:30	坂井市立春江西小学校	「小学校理科実験講習会」 上級 CST の横山先生を講師に招き、坂井地区の小中学校教諭を対象に、理科実験講習会を行った。 内容：授業に活かせるものづくり
2013/10/24 (木) 13:45 ~ 16:15	勝山市立成器南小学校	小学校理科地層見学授業公開 授業者：上級 CST 補 多田 誠一郎 教諭 見学場所：杉山 (恐竜発掘現場見学)、大矢谷白山神社 (巨大岩塊見学)、樫が壁 (地層見学) 内容：「勝山ジオパークを活用した地層見学の展開と児童指導の実際」
2013/11/1 (金) 9:30 ~ 11:30	坂井市立春江西小学校	「理科教育推進のための科学教育映画収集・活用ならびに関連する理科実験実施の支援事業」 NPO 法人福井科学学園主催で春江西公民館とタイアップして事業を実施。この日は、5年2組の児童と地域の高齢者との交流を図るという目的で「あかり」という映画を鑑賞後、グループに分かれて「まさつのない装置で慣性の法則を見つけよう」というテーマで実験を行った。それぞれのグループには高齢者が入り、実験の手伝いをした。

日時	拠点名	活動内容
2013/11/11(月) ～2014/2/3(月)	福井市明新 小学校	学校インターンシップ実習生(中級CST受講者)受け入れ(10回) 毎週月曜日13校時～46校時の理科の授業を参観して子どもの学習の支援をしたり、指導案作成、理科室の備品の整理をしたりしてもらった。6年生の学級で「電気とわたしたちの暮らし」の指導に取り組んだ。
2013/11/16(土) ～11/17(日) 10:00～16:00	敦賀市立 杵見小学校	「青少年のための科学の祭典」(福井県児童科学館)に参加 4名のCSTが参加し、2つのブースを出して参加体験型ワークショップを行った。
2013/11/18(月) 13:55～17:00	敦賀市立 杵見小学校	「授業研究会」5年生:物のとけ方 敦賀市立中郷小学校を会場として授業研究を行った。事後研究では、予想や話し合い、実験方法などのことについて協議した。理科授業の改善に向けて研修を深めることができた。
2014/1/20(月) 15:45～17:00	敦賀市立 杵見小学校	日本原電(株)より桑室直俊氏を講師に招き、「省エネ」についての講義と「手作りモーター」の製作を行った。
2014/2	福井市明新 小学校	学校インターンシップ実習生のアンケートに3年～6年の子どもが回答した。内容は、体積の概念について児童の実態をさぐるもの。

1.6 CST 養成プログラム新規受講者数の推移

			22年度	23年度	24年度	25年度	計
初級CST	学部3・4年生	2月募集	8	6	5	5	24
中級CST	大学院生	4月募集	3	3	2	1	9
上級CST	現職教員	4月募集	6	4	3	2	15
		8月募集	5	3	2	—	10
		計	11	7	5	2	25
計			22	16	12	8	58

- 修業年限 初級・・・2年、中級・・・2～3年
上級・・・1～5年(平成22、23年度新規受講者)
標準修業年限 2年(平成24年度新規受講者から)

1.7 CSTの活動

1.7.1 CSTの活動実績

平成24年度までに、上級CST 12名、中級CST 6名、初級CST 7名が認定され、上級CSTを中心に以下のCST活動が展開された。

	CST 認定者 (人)	CST 受講者 (人)
授業公開・研究会	1	7
実験講習会	5	—
科学イベント講師	6	1
CST 公開セミナー	7	8

No.	年月日・研修時間	担当 CST	会場	参加教員数	
				小学校	中学校
研修項目			参加対象者		
1	2013/6/20(木)	上級 CST 垣内 浩 (越前市武生東小学校 教諭)	越前市武生東小学校	13	3
	理科ブロック研修 研修講座 (南越ブロック第1回講座) ー CST と学ぼう! 理科の授業づくりー 「興味・関心を高め、持続させる授業実践の提案」		南越ブロック小・中学校(理科)教員 および特別支援学校の小・中学校教員		
2	2013/7/23(火)	上級 CST 竹澤 秀之 (越前市南越中学校 教諭)	武生特殊鋼材株式会社, レンゴー武生工場	12	10
	理科教育用素材の発掘のための企業見学		南越ブロック小・中学校(理科)教員		
3	2013/8/6(火)	上級 CST 横山 敏史 (あわら市立芦原中学校 教諭)	坂井市立春江西小学校	10	0
	「わくわく理科ランド」 開講式の実験講師		小学5・6年生		
4	2013/8/7(水)	上級 CST 大野 豊 (美浜町立弥美小学校 教諭)	福井大学文京キャンパス	5	5
	教員免許更新講習 小学校理科のエネルギー分野のゲストティーチャー		教育職員免許状更新講習対象者		
5	2013/8/23(金)	上級 CST 永廣 裕子 (福井大学教育地域科学部 附属中学校 教諭)	福井大学教育地域科学部 附属中学校理科室	10	12
	「夏季授業研修会」 理科の授業で使える教材の開発・紹介		福井ブロック小・中学校(理科)教員		
6	2013/8/26(月)	上級 CST 佐々木 恭介 (鯖江市鯖江中学校 教諭)	鯖江市鯖江東小学校	15	5
	理科ブロック研修 研修講座 (鯖丹ブロック第1回講座) ー CST と学ぼう! 理科の授業づくりー 「小・中の系統性を重視した指導について」		鯖丹ブロック小・中学校(理科)教員 および特別支援学校の小・中学校教員		
7	2013/8/27(火)	上級 CST 大野 豊 (美浜町立弥美小学校 教諭)	小浜市立小浜小学校	25	5
	理科ブロック研修 研修講座 (若狭ブロック第1回講座) 「小・中学校教員理科指導力向上事業」 小学校理科の物理分野の教材研究		坂井ブロック小・中学校(理科)教員		
8	2013/10/22(火)	上級 CST 横山 敏史 (あわら市立芦原中学校 教諭)	坂井市立春江西小学校	15	5
	「小学校教員理科指導力向上事業坂井ブロック実験講習会」 観察・実験研修の講師		若狭ブロック小学校教員		
9	2013/11/16(土) ～ 11/17(日)	上級 CST 大野 豊 (美浜町立弥美小学校 教諭)	福井県児童科学館	—	—
	「青少年のための科学の祭典 2013 福井大会」ブース出展 ピコピコカプセルであそぼう!		幼児・小中高生・大学生・一般		
10	2013/11/16(土) ～ 11/17(日)	上級 CST 宇野 秀夫 (福井市進明中学校 教諭)	福井県児童科学館	—	—
	「青少年のための科学の祭典 2013 福井大会」ブース出展 ペットボトル風車		幼児・小中高生・大学生・一般		

No.	年月日・研修時間	担当 CST	会場	参加教員数	
				小学校	中学校
研修項目			参加対象者		
11	2013/11/16(土) ～ 11/17 (日)	中級 CST 川端 康誉 (敦賀市立中郷小学校 教諭)	福井県児童科学館	—	—
		初級 CST 佐藤 亘 (敦賀市立敦賀西小学校 教諭)			
		初級 CST 南 祐作 (敦賀市立粟野中学校 教諭)			
	「青少年のための科学の祭典 2013 福井大会」ブース出展 静電気で遊ぼう		幼児・小中高生・大学生・一般		
12	2013/12/16(月) ～ 12/17 (火)	上級 CST 永廣 裕子 (福井大学教育地域科学部 附属中学校 教諭)	福井大学教育地域科学部 附属小・中学校理科 室	1	2
		附属小学校と附属中学校の理科室に訪問し、お互いに連携・共有で きることを考えていく		福井大学教育地域科学部附属小・中 学校(理科)教員	

1.8 平成 25 年度 CST 認定

1.8.1 上級 CST, 中級・初級修了者一覧

認定事項	平成 25 年度 所属	氏 名
上級 CST(福井)	勝山市立成器南小学校	多田 誠一郎
中級 CST 養成プログラム修了認定	福井大学大学院教育学研究科	伊藤 慧
初級 CST 養成プログラム修了認定	福井大学教育地域科学部	奥屋 倫太郎
初級 CST 養成プログラム修了認定	福井大学教育地域科学部	笠川 裕史
初級 CST 養成プログラム修了認定	福井大学教育地域科学部	小林 暉
初級 CST 養成プログラム修了認定	福井大学教育地域科学部	笹井 春奈
初級 CST 養成プログラム修了認定	福井大学教育地域科学部	矢納 好人

1.8.2 認定証授与

平成 26 年 3 月 24 日に、寺岡 英男 理事・副学長、小和田 和義 福井県教育庁企画幹（当日は、代理にて義務教育課 水谷 善長 参事）および脇田 典子福井県小学校教育研究会理科部会長のご臨席のもと、平成 25 年度 福井 CST 認定証授与式を挙行了。これを受けて、上級 CST, 中級・初級修了者を代表し、勝山市立成器南小学校 多田 誠一郎 教諭の挨拶があった。

2. 成果

- ① 福井大学と福井県教育委員会の間で、平成 25 年度以降の福井 CST 養成・支援事業の継続実施に関する「合意書」を平成 25 年 4 月 1 日付けで交わした。
- ② 福井県（教育委員会）との連携により、県内全域での現職教員の受講者募集がスムーズに進むと同時に、県内全域での受講者の利便性向上のための研修講座の提供を福井県教育研究所、福井県嶺南教育事務所、福井県立大学福井キャンパスおよび小浜キャンパス、福井県大学連携リーグ（大学私学振興課）、福井県自然保護センター、福井県海浜自然センターおよび福井県立恐竜博物館から受け、述べ 311 講座を提供頂いた。
- ③ 福井市との連携により、福井自然史博物館より 42 の講座提供を受けることができた。また、市内の小中学校に於いて、述べ 6 名の学校インターンシップを引き受けて頂いた。
- ④ CST News Report を発行した。
- ⑤ 県との協定および協定市町の協力により、県内 7 ブロック全てに、県内小中教員支援の拠点となる小学校の配置を維持することができた。
- ⑥ 香川県における CST シンポジウムでは、大学担当者がパネリストを務めた。高知県での CST シンポジウムでは、大学からと上級 CST からの成果報告を行った。福井県の取り組みについては、大学と県が、「合意書」を交わし、継続的に CST 養成及び支援活動がなされていることに関して、高い評価を得た。更に、愛知県での CST シンポジウムには、大学担当者、県教委担当者、上級 CST（現職教員）および初級 CST 養成プログラム修了見込者（学部 4 年生）各 1 名が参加し、大学からの成果報告に加えて、他の 15 都府県の関係者と意見交換を行った。3 月 15 日に神奈川県で開催される CST シンポジウムにも参加し、福井大と福井県の取組について、成果発表及び広報活動を行った。
- ⑦ 県との連携により、CST が講師となる「小・中学校教員指導力向上研修会」が複数回開催され、次年度以降も継続される計画である。また、教育職員免許状更新講習においても、平成 25 年度は、1 名の上級 CST がゲストティーチャーを務めた。平成 26 年度以降も継続の予定である。
- ⑧ 平成 25 年度初級 CST 養成プログラム修了見込者 5 名のうち、3 名（うち 1 名は内定の上進学）が福井県の中学校理科教員として採用された。また、2 名が福井大学大学院教育学研究科教科教育専攻に進学した。

3. 実施風景（抜粋）

3.1 学校インターンシップ



附属小学校 中級受講者



公立小学校 初級受講者



中間カンファレンス



公立小学校 初級受講者



公立中学校 初級受講者



公立中学校 初級受講者



公立中学校 初級受講者



終了カンファレンス

3.2 博物館等インターンシップ



福井県立恐竜博物館



福井県立恐竜博物館



福井市自然史博物館



福井市自然史博物館



福井県児童科学館



福井県児童科学館

3.3 地域支援拠点（小学校）



坂井市立春江西小学校



福井市明新小学校



鯖江市鯖江東小学校



勝山市立成器南小学校



勝山市立成器南小学校



越前市武生東小学校



敦賀市立沓見小学校



小浜市立小浜小学校

3.4 CSTの活動



理科ブロック研修 研修講座
（南越ブロック）の講師



CST 公開セミナー（福井大学）
の講師



理科ブロック研修 研修講座
（鯖丹ブロック）の講師

3.4 CSTの活動



わくわく理科ランド
(春江西小学校)の実験講師



教員免許更新講習



初級・中級 CST 受講者の指導



青少年のための科学の祭典に
ブース出展 (福井県児童科学館)



サイエンスアゴラでの
科学コミュニケーション活動



第2回 理数系教員養成拠点構築プロ
グラム成果報告会および CST の集い

3.5 認定証書授与式



来賓, 認定者, 事業関係者 一同



上級 CST (福井) 認定証 (例)

4. 成果物

4.1 CST News Report (No.13 ~ 14)



2013.9.30
No.13
since 2008.10

平成25年度 福井 CST 養成・支援事業

- 巻頭言 平成24年度中学校理科教育実態調査から見えること
- Topic 1 第7回福井CST合同研修会 第5回福井CST公開セミナー「植物の不思議」
- Topic 2 明新小学校で親子理科実験教室を行いました

- Pick Up! 福井 CST 地域支援活動報告、新聞取材活動が盛んになりました
- 受賞者発表！ 小学校理科4・6年生（1日）ほか
- お知らせ 第4回福井CST認定委員会開催、ほか

巻頭言
平成24年度中学校理科教育実態調査から見えること

科学技術振興機構 (STI) 理学学習支援センター 副センター長 植木 勉

STI では、平成 25 年 3 月に、全国の公立中学校及び中学校教員 417 校で理科教育実態調査 1,225 名（第 2 学年の生徒 13,430 名を対象）アンケート調査を実施しました。この調査の結果（概要）と以前に実施された調査（平成 20 年度 STI 調査、平成 15 年度国立教育政策研究所調査及び平成 16 年度理科・国立教育政策研究所調査）の結果を比較するといくつかの特徴が見えてきます。

まず、学校に対する調査では、「科学者が学校にいない」という割合が増加しています（平成 20 年度：66% → 平成 24 年度：73%）。科学者の役割に対する認識としては「情報職となる割合の不足（69%）」が一般的に行われています。

次に、教員に対する調査では、観察や実験の頻度について「1週 1 回以上」を行っているという割合が高くなっています（平成 20 年度：63% → 平成 24 年度：53%）。また、教員経験 5 年未満の教員も低くなっていました（49%）。

理科の授業について、「学習内容と職業との関係についてよく説明している」と「1 対して、身振的に正確な説明は高くなっています（平成 20 年度：34% → 平成 24 年度：46%）」さらに、「学習内容が日常の経験に活用できることをよく教えている」と「2 に対して、科学的に説明している割合も高くなっています（平成 20 年度：66% → 平成 24 年度：74%）」。

生涯に対する調査では、「理科を知りたいと思う好きな仕事に就く」という意向も高くなっています（平成 20 年度：34% → 平成 24 年度：46%）。一方、「理科の自由研究をしたことがある」と回答した割合も高くなっています（平成 16 年度：70% → 平成 24 年度 77%）。また、中学校で科学部に所属している生徒は 1% でした。

このような結果をどう見るかということについてはお知らせですが、生徒の意識が、「国産の産品」、「国産品の消費」となると、現場の理科教育を取り巻く状況が厳しさを帯びてくることと考えます。福井県においては、CST の実施が進展しています。大学、行政（教育庁）、学校現場が一丸となって、理科教育の向上、発展が図られることを期待しています。

理研教育 U-URL
http://www.jst.go.jp/ps/ps/shusen/secondary/pspe_report_016.pdf



2014.3.31
No.14
since 2008.10

平成25年度 福井 CST 養成・支援事業

- 巻頭言 坂井市における大学との連携について
- Topic 第3回福井CST認定証授与式を挙行了しました

- Pick Up! 福井 CST 認定証授与式を挙行了しました
- 受賞者発表！ 「第5回福井CSTセミナー」
- お知らせ 平成26年度上級・中級 CST 養成プログラム 受講者募集

巻頭言
坂井市における大学との連携について

坂井市教育委員会 教育長 川元 利夫

坂井市は、平成18年3月に三回、丸岡町、春日町、坂井町の3町が合併して誕生し、8年を迎えています。その間、当時の福井県をキーワードに市民の誇りを築いてきました。圏域経済の発展は、本市を核として進んでいます。平成21年に統合6市、平成24年は統合3市、日本の心街ランキングでは、福井南地区で全国4位と高い評価をいただき、絆の深さを認識しているところであります。

学校教育においても、地域や保護者、関係機関との連携を深め、教育的効果をあげているところであります。丸岡南中学校では、平成20年度から福井大学教職大

学院の拠点校として、教員や学生の交流を深め、毎年大きな成果を収めています。

同様に、CST 地域支援拠点（小学校）である春日江小学校では、理科授業において福井大学と連携を深めているところであります。

春日江小学校では、福井大学の協力で、上級CST 養成プログラム受講者が講師となり、教員対象の理科実践研修会を行いました。授業研究会を行うなど、坂井市における理科教育のシンクタンクとして重要な役割を担っています。

今後とも、福井大学との連携を深め、科学的楽しさや伝える教員の実績向上を図りながら、未来を担う子どもたちの育成に努めてまいりたいと思います。



2014.3.31
No.14
since 2008.10

平成25年度 福井 CST 養成・支援事業

平成26年3月24日(月)、福井大学 文京キャンパスにて、第3回福井CST認定証授与式を挙行了しました。認定を受けたのは、1~3年間の間に CST 養成プログラムを修了した、初級 CST 受講者（学習者）6名、中級 CST 受講者（認定）1名、上級 CST 受講者（民間）学校教員1名の計7名です。

CST 所属校は理科教育支援拠点（配属校）として指定され、南陸地域を拠点とした理科教育の推進となります。現在、平成24年度までに認定された48名のCSTが坂井県内の各所で活躍しています。

これまでも、そしてこれからも、地域支援拠点（小学校）や CST 養成・支援拠点をとりながら、それぞれの所属する学校や地域の理科教育発展のために様々な場面で活躍してまいります。

- Pick Up! 福井 CST 認定証授与式を挙行了しました
- 受賞者発表！ 「第5回福井CSTセミナー」
- お知らせ 平成26年度上級・中級 CST 養成プログラム 受講者募集

Topic 第3回福井 CST 認定証授与式を挙行了しました

平成26年3月24日(月)、福井大学 文京キャンパスにて、第3回福井CST認定証授与式を挙行了しました。認定を受けたのは、1~3年間の間に CST 養成プログラムを修了した、初級 CST 受講者（学習者）6名、中級 CST 受講者（認定）1名、上級 CST 受講者（民間）学校教員1名の計7名です。

CST 所属校は理科教育支援拠点（配属校）として指定され、南陸地域を拠点とした理科教育の推進となります。現在、平成24年度までに認定された48名のCSTが坂井県内の各所で活躍しています。

これまでも、そしてこれからも、地域支援拠点（小学校）や CST 養成・支援拠点をとりながら、それぞれの所属する学校や地域の理科教育発展のために様々な場面で活躍してまいります。

- 上級 CST (福井) 坂井市立成田南小学校 中田 雄一 郎
- 中級 CST (福井) 成成プログラム修了 伊藤 肇
- 初級 CST (福井) 成成プログラム修了 藤原 尚史
- 成成プログラム修了 三浦 龍一
- 成成プログラム修了 小川 孝一
- 成成プログラム修了 野村 善之
- 成成プログラム修了 安井 裕人

- 上級 CST (福井) 福井大学 成田南小学校 中田 雄一 郎
- 中級 CST (福井) 福井大学 成成プログラム修了 伊藤 肇
- 初級 CST (福井) 福井大学 成成プログラム修了 藤原 尚史
- 成成プログラム修了 三浦 龍一
- 成成プログラム修了 小川 孝一
- 成成プログラム修了 野村 善之
- 成成プログラム修了 安井 裕人



2014.3.31
No.14
since 2008.10

平成25年度 福井 CST 養成・支援事業

- 巻頭言 坂井市における大学との連携について
- Topic 第3回福井CST認定証授与式を挙行了しました

- Pick Up! 福井 CST 認定証授与式を挙行了しました
- 受賞者発表！ 「第5回福井CSTセミナー」
- お知らせ 平成26年度上級・中級 CST 養成プログラム 受講者募集

PickUp!
福井 CST 地域支援拠点校で 上級 CST (福井) を講師とした教職員研修講座が開かれました!!

様々な困難を乗り越え、理科教育の発展を目指している学校教員の割合が多くなっています。理科教育が広がるには、教員自身が活躍の場を確保する必要があります。福井県が中心となり、CST が中心となる理科教育の発展に向けた取り組みがなされています。福井県が中心となり、CST が中心となる理科教育の発展に向けた取り組みがなされています。福井県が中心となり、CST が中心となる理科教育の発展に向けた取り組みがなされています。

2013.6.20 南越ブロック第1回講座 越前市立西小学校 講師 堀内 尚哉 (上級 CST 越前市立西小学校所属)

2013.8.26 越前ブロック第1回講座 越前市立西小学校 講師 佐々木 静子 (上級 CST 越前市立西小学校所属)

2013.8.27 若狭ブロック第1回講座 小浜市立小浜小学校 講師 大野 善治 (上級 CST 美浪町立善治小学校所属)

お知らせ
平成25年度文科系科学教育実践者（地）の拠点整備事業（大学COC事業）に福井大学が採択されました。今後、この事業の一環として、CST 養成・支援を継続していきます。

第4回福井CST公開セミナー「第5回福井CST合同研修会」開催
開催日 10月10日(水) 19:00~20:50
会場 福井大学文京キャンパス(教育1号棟学生広場)
内容 講演・合同実習・ミニ講演・パネルディスカッション・7時〜7時45分まで

CST News Report No.13 2013.9.30 発行
編集・発行・印刷 福井大学 CST 企画運営事務局
〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 電話 0776-27-9929
ECS@cst.fukui-u.ac.jp URL http://www.cst.fukui-u.ac.jp



2014.3.31
No.14
since 2008.10

平成25年度 福井 CST 養成・支援事業

- 巻頭言 坂井市における大学との連携について
- Topic 第3回福井CST認定証授与式を挙行了しました

- Pick Up! 福井 CST 認定証授与式を挙行了しました
- 受賞者発表！ 「第5回福井CSTセミナー」
- お知らせ 平成26年度上級・中級 CST 養成プログラム 受講者募集

PickUp!
福井 CST 地域支援拠点校で 上級 CST (福井) を講師とした教職員研修講座が開かれました!!

様々な困難を乗り越え、理科教育の発展を目指している学校教員の割合が多くなっています。理科教育が広がるには、教員自身が活躍の場を確保する必要があります。福井県が中心となり、CST が中心となる理科教育の発展に向けた取り組みがなされています。福井県が中心となり、CST が中心となる理科教育の発展に向けた取り組みがなされています。福井県が中心となり、CST が中心となる理科教育の発展に向けた取り組みがなされています。

2013.6.20 南越ブロック第1回講座 越前市立西小学校 講師 堀内 尚哉 (上級 CST 越前市立西小学校所属)

2013.8.26 越前ブロック第1回講座 越前市立西小学校 講師 佐々木 静子 (上級 CST 越前市立西小学校所属)

2013.8.27 若狭ブロック第1回講座 小浜市立小浜小学校 講師 大野 善治 (上級 CST 美浪町立善治小学校所属)

お知らせ
平成25年度文科系科学教育実践者（地）の拠点整備事業（大学COC事業）に福井大学が採択されました。今後、この事業の一環として、CST 養成・支援を継続していきます。

第4回福井CST公開セミナー「第5回福井CST合同研修会」開催
開催日 10月10日(水) 19:00~20:50
会場 福井大学文京キャンパス(教育1号棟学生広場)
内容 講演・合同実習・ミニ講演・パネルディスカッション・7時〜7時45分まで

CST News Report No.13 2013.9.30 発行
編集・発行・印刷 福井大学 CST 企画運営事務局
〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 電話 0776-27-9929
ECS@cst.fukui-u.ac.jp URL http://www.cst.fukui-u.ac.jp

5. 広報資料

広告企画 福大COC通信 (No. 5)

福大COC通信

理科教育のスタンダードを養成

シリーズ「人材育成」

福井大学の理科教育は、スタンダード(CoC)を軸として、創造力・実践力を養うCOC事業の一環として、理科教育のスペシャリスト「コア・サイエンス・ティーチャー(CST)」を養成する取り組みを、福井県教育委員会と共同で行っています。CSTは、地域において「理科好き」の子どもたちを育てる教員を支援する中核的な役割を担い、児童・生徒への直接指導をはじめ、周囲の教師にもアドバイスをを行います。

本学と福井県教育委員会が共同開発したCST養成プログラムは、学部生を対象とした初級、大学院生を対象とした中級、現職教員を対象とした上級の3種類で、県内の理科教育関連機関の協力も得ながら、それぞれの段階に応じた学びを実践します。先端科学技術セミナーや実験観察の実技研修、小中学校でのインターンシップやその指導、公開授業の参観、更には科学イベントで講師を務めるなど、専門力や指導力を高める各種プログラムを受講し、付与されるポイントの合計が、それぞれの基準を満たせばCSTに認定されます。

3月24日には、第3回の認定証授与式を行います。2～3年間かけてプログラムを受講した7名(初級5名、中級1名、上級1名)を新たに認定する予定です。質の高い理科教育の推進のため、活躍が期待されています。

とき 3月24日(月) 17:00~17:50
ところ 事務棟2階第1会議室(文京キャンパス)
問い合わせ 教育地域科学部理教教育課
浅原 雅浩 准教授 0776-27-8687

創造力、実践力、
福井大学 News & Topics
第146号 2014.3.17

**理科教育のスペシャリスト7名を認定
福井CST認定証授与式を挙**

本学は、文部科学省に採択された「地(知)の拠点整備事業」の一環として、理科教育のスペシャリスト「コア・サイエンス・ティーチャー(CST)」を養成する取り組みを、福井県教育委員会と共同で行っています。CSTは、地域において「理科好き」の子どもたちを育てる教員を支援する中核的な役割を担い、児童・生徒への直接指導をはじめ、周囲の教師にもアドバイスをを行います。

本学と福井県教育委員会が共同開発したCST養成プログラムは、学部生を対象とした初級、大学院生を対象とした中級、現職教員を対象とした上級の3種類で、県内の理科教育関連機関の協力も得ながら、それぞれの段階に応じた学びを実践します。先端科学技術セミナーや実験観察の実技研修、小中学校でのインターンシップやその指導、公開授業の参観、更には科学イベントで講師を務めるなど、専門力や指導力を高める各種プログラムを受講し、付与されるポイントの合計が、それぞれの基準を満たせばCSTに認定されます。

3月24日には、第3回の認定証授与式を行います。2～3年間かけてプログラムを受講した7名(初級5名、中級1名、上級1名)を新たに認定する予定です。質の高い理科教育の推進のため、活躍が期待されています。

とき 3月24日(月) 17:00~17:50
ところ 事務棟2階第1会議室(文京キャンパス)
問い合わせ 教育地域科学部理教教育課
浅原 雅浩 准教授 0776-27-8687

6. 報道資料

理科授業の質高めよう 福井大で教員のセミナー



小中学校の授業で使われた実験を体験する参加者=福井市の福井大で

日本教育新聞 小学校・実践 平成26年(2014年)1月13日(月曜日)

梶川 正樹・福井市豊小学校教諭

「理系の教師として採用されたのは、併に専門性を磨き、中・高時代の恩師から意外な言葉が返ってきた。私は中学校教員として採用され、部活動中心の教師生活を送っていた。偶然にも恩師と接する機会があり、その言葉を思い出した。」

小中学校時代の恩師にならなくなったが、先生に憧れ、中学校時代の恩師の分りやすい授業を目指して、その恩師の授業は聞いていた。その授業のコツは、いまひとつかめていない。

恩師の言葉を意識するようになったのは、小学校で教えるようになってからである。理科が国語や算数に比べて時間数が少なく、寂しい状況だと私自身が感じていた。

その当時は体育主任を任せられ、専門性を生かそうと思っても生かさない立場にもあった。理科の指導について、「多くの教員が苦手意識を抱えている」との現状を踏まえると、「腕力でも、小学校の理科教育を盛り上げていきた

ましてもらう」とは、緊張を覚悟して定まるCST資格を取った。実験を体験する「コア・サイエンス・ティーチャー(CST)」の認定を待たずに、理数教育の専門家として、大学の先生から入らされた。必要事項をすべて満たした。その先、安永さんとは「何をしようかなるか」と悩み、「努力し」と語り、師範科自習室で練習して、「実験室」(平林君)を習得した。

(命題には、砂と融材を混ぜて七輪でマングローブを作り、それを化学実験の準備に使う) 授業の準備も、(布製谷粒)



「6」

いという思いが自然湧き起こって、そこで迷わず、地域における理科教育の中核的な役割を担う教員養成を目標として、CSTに認定された。

それが本年度から福井大学教職大学院に進学すべく、しっかりと、グループセッションの互いの意見について議論を重ね、自分の振り返りだけでなく、新たな発見にもつながっていった。

「専門性磨く」理科教育広める力に

現在は勤務校で理科主任を務めている。大学院での学びを生かし、希望者を対象に単元ごとに理科指導の学習会を行うことができた。将来は学生や学校を超えて、理科学習会を行うことが夢である。

小学校時代の恩師からは「学校は新しい場所ではないから、全ての教科、領域で教員研究を重ね、同様々に児童の知的好奇心をくぐり、科学を楽しむ授業を担ってほしい」と。

次回は27日付掲載

おわりに

本報告書は、平成 25 年度「福井 CST 養成・支援事業」の歩みを簡潔にまとめたものです。今年度は、上級 CST 1 名、中級 CST 1 名、そして初級 CST 5 名を新たに認定することができました。初級・中級養成プログラム修了者の中から 3 名の新卒新採用教員も誕生する予定です。また、新規養成プログラム受講者についても、上級 2 名、中級 1 名、初級 5 名の計 8 名を迎えることができ、県内への CST の定着も少しずつ見えてきました。

さて、平成 21 年度に開始し、福井大学と福井県教育委員会で開発し実施してきた本プログラムも丸 5 年が経過し、合計 32 名の CST を輩出して参りました。平成 23 年度以降、7 つの地域支援拠点(小学校)の活動も年々活発となり、養成された CST の活躍の場として定着してきています。また、CST となられた先生方も、配置校やブロック内のみならず、地域を越えた理科教育支援も行って頂くようになり、県内全域での理科教育力の向上に繋がっているものと確信しています。

これら福井の CST 養成及び活動支援につきましては、受講者および CST となられた先生方の努力の賜物であることは言うまでもありませんが、県内の CST 養成とその活動支援に惜しみないご支援を頂いた 7 つの地域支援拠点(小学校)、福井県教育研究所、福井県嶺南教育事務所、福井県立大学、福井工業大学、福井県立恐竜博物館、福井市自然史博物館、福井県児童科学館、福井県自然保護センター、福井県海浜自然センター、市町教育委員会(インターンシップ実習校)、大学連携リーグ(福井県大学私学振興課)、(財)若狭湾エネルギー研究センター、(独)日本原子力研究開発機構、(株)原子力安全システム研究所様等多数のご協力があってこそ、本システムが福井県内に定着してきたものであり、厚くお礼申し上げます。

今後とも、ご支援ご指導のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 3 月

福井 CST 養成・支援事業実施主担当者
(福井大学教育地域科学部 教授)

大山 利夫

平成 25 年度
福井 CST 養成・支援事業
地（知）の拠点整備事業
（「理科に強い小中学校教員養成（CST）」）
業務成果報告書



2014 年 3 月 31 日 発行

編集者 中田隆二・大山利夫・浅原雅浩
細江悦雄・荻澤知穂

発行 国立大学法人 福井大学 CST 企画運営事務局
福井市文京 3 丁目 9 番 1 号
TEL/FAX (0776) 27-9928

印刷・製本 能登印刷株式会社

